



「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせて是非ご一読ください。

News Pick Up !!

「世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ」 第10回シンポジウム開催報告 (国際センター主催)



10回目を迎えたシンポジウム

2014年4月に始まった「世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ」のシンポジウムが10回目を迎えた。今回は、「ベトナム最長の海上橋建設

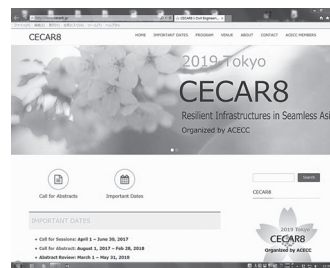
ラックフェン国際港アクセス道路・橋梁建設プロジェクト」と題して、2017年8月3日、土木会館講堂において開催された。

ベトナム北部ハイフォン市で、建設が進められている大水深ラックフェン国際港の総延長15.6kmのアクセス道路・橋梁建設プロジェクト(円借款事業)がテーマである。今回のシンポジウムの後援団体である国際協力機構(JICA)の竹内和夫氏からは同国の経済状況、日本のベトナムへの援助状況、特に都市交通インフラ整備などへの支援の状況などについて講演があり、三井住友建設(株)および同社ラックフェン作業所の関係者からは、国際建設市場の動向や同社の国際市場・ベトナム市場における取組み、同プロジェクトの概要、現場で使用された適用技術や工程短縮に取り組んだ工夫の数々、海外生活の苦勞話、これから海外勤務を希望する方へのメッセージなど多面的に紹介していた。このシンポジウムは毎回非会員の方の参加が多く、今回も100人を超える参加者の約6割を占めた(第10回シンポジウム開催報告の詳細は、下記HPの「イベント情報&開催報告」をご覧ください)。

CECAR8 (第8回アジア土木技術国際会議) Call for Abstract 始まる

土木学会に置かれているCECAR8組織委員会(委員長:茅野正恭氏(鹿島建設(株)))では、2019年4月に東京で開催されるCECAR8に向け、企画(部長:木村亮氏(京都大学))、総務・財務(同:花岡憲男氏(八千代エンジニアリング(株)))、学術(同:佐藤慎司氏(東京大学))、行事(同:大西博文氏((株)片平新日本技研))の各部会において具体化に向けた検討および準備を進めている。

6月30日に締め切られた「セッション募集」(学術部会担当)には、土木学会の調査研究委員会やACECCの技術委員会(TC)から42もの応募があった。採択されたテーマセッションおよび7つの一般セッションを対象に、この8月1日からCECAR8の特設サイト(<http://www.cecar8.jp/>)で「アブストラクト募集」が始まった。一般公募により登壇者を決めて実施するセッションや既に登壇者を内定しているセッションのいずれも、各登壇者はアブストラクト登録を2018年2月28日までにを行う必要があり、ご留意いただきたい。



CECAR8ウェブサイト

なお、9月28日には拡大学術部会を開催し、テーマセッションのコンビナーの方々にも出席いただき、セッション提案の内容やセッション運営の進め方について確認が行われた。

Event Calendar

国際センターが企画するイベント(行事)については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

土木学会国際センター

検索

News Pick Up ! と Event Calendar の詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。

「国際センター通信」は下記の学会ホームページ(日本語版・英語版)からもアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。

※国際センター事務局 e-mail: iac-news@jsce.or.jp

■ 日本語版 HP : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26>

■ 英語版 HP : <http://www.jsce-int.org/pub/iacnews>

■ Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.Jp/>

■ (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>